

学部 (履修等)

1 履修方法及び履修に関する心得

はじめに

学生は、「神戸大学教学規則」、「神戸大学全学共通授業科目履修規則」、「神戸大学発達科学部（以下「本学部」という。）規則」及び次に述べる各項を熟読し、定められた単位を修得し、卒業資格を得なければなりません。

(1) 履修のあり方について

単位制度の考え方について

神戸大学では、各授業科目の単位数は、授業時間外の勉強時間も含めて、45時間の学修を必要とする内容をもって1単位の授業を構成することとなっています（神戸大学教学規則第32条）。その原則に基づいて、本学部では、授業形態に応じて授業時間あたりの単位数を定めています。例えば、講義および演習については、15時間の授業をもって、実験や実習等については、30時間の授業をもって1単位とすると定めています（本学部規則第5条）。

このことから、例えば、2単位の講義科目では、30時間分の授業を設定することが標準となっていますが、その授業科目の単位が認定されるには、合計90時間分に相当する学修が必要ということになります。学生諸君の中には、授業に全部出席すれば、それだけで単位が自動的に修得できるものと誤解している人もいますが、そういう認識は改めてください。授業時間に加え、自分自身での勉強の時間なども含めて、90時間分の学修の成果を測る試験に合格して、初めて2単位が修得できるものと理解してください。本学部では、その判定を厳正に行うように努めています。

年間に履修できる単位数の上限について

本学部では、1年間に履修できる単位数の上限を設けています（本学部規則第7条）。これは、上で述べた単位制度の考え方に基づくと、1週間に一人の人が勉強に使える時間に上限があるので、その上限を超えて勉強するような計画を立てても、その実現は物理的に不可能なことがわかっているからです。しかし、中には、非常な努力をして、膨大な勉強時間を使ってでも多くを学ぼうとする人もいますが、その可能性を全くふさいでしまわないために、本学部で設けた履修単位の上限の設定は比較的ゆるやかなものになっています。しかし、それだからといって、むやみに可能な上限ぎりぎりまでの単位数の履修登録をすることは、意味がないばかりか、無謀だといえます。一人一人、自学自習の時間も考慮に入れた学習計画に基づいて、授業科目の履修申請を行うようにしてください。

(2) 発達科学部履修要件

発達科学部規則別表第2履修要件（第6条関係）参照

(3) 履修及び受験手続きについて

学生は、毎学期初めに配布する授業時間表により、履修しようとする授業科目を定め、授業開始後、定められた期間内に、指定する方法により登録しなければならない。登録後の履修科目の追加変更等の変更は一切認めない。

「履修・受験登録」に関する注意事項について

授業時間表に学年・クラスを指定されている授業科目は、その指定にしたがって履修しなければならない。なお、同一期限内にある二つの授業科目を履修申請することはできない。

いったん修得した単位は、取り消すことはできない。

(4) 他学部の授業料日の履修について

他学部の授業科目を履修する場合も、前記の方法により登録すること。

(5) 集中講義について

集中講義についても、他の科目と同様に登録すること。詳細については、その都度指示する。

なお、他学部の集中講義を履修する場合は、各自開講学部等で開講期間を確認し、学期初めに他の科目と同様に登録すること。

(6) 試験及び単位修得の認定について

試験は各授業科目につきその授業の終了した学期末に行われるが、科目によっては随時行われることもある。不合格の場合は、改めて履修しなければ試験を受けることはできない。

履修・受験届を提出していない授業科目については、試験を受けることはできない。

なお、レポートをもって試験に代える時は、その提出期限を厳守すること。

(7) 学期末試験受験上の注意事項

学期末試験を受験するときは次の事項に注意すること。

試験開始20分以後は、試験室への入室を認めない。

試験開始後は20分以上経過しないと退室を認めない。

試験室退出後の再入室は認めない。

答案には、成否にかかわらず必ず学部・学籍番号・氏名を記入すること。学部・学籍番号・氏名の記入のない答案は無効とする。

答案は成否にかかわらず提出すること。

答案は教室の前の教卓へ提出すること。

試験中他人に迷惑になる行為，並びに不正行為をしてはならない。不正行為があった場合は，学部の取扱いにしたがう。

試験中に筆記用具，その他の貸借をしてはならない。

学生証は必ず携帯すること。

(8) 成績評価について

各担当教員は，

期末試験の成績

小テスト評価

中間テスト評価

平常点（宿題・レポート・質疑応答内容・提案・発言等）

授業への出席状況

等を用いて総合的に評価する。

評価基準は下表のとおりとする。

評 価	評 点	合 否
優	80～100	合 格
良	70～79	
可	60～69	
不可	0～59	不 合 格

(9) 卒業研究について

卒業研究は，学部規則第13条に基づいて卒業論文を作成・提出し，卒業論文等試験に合格しなければならない。

卒業研究を行う際には4年次以降の各学期の定められた期日までに卒業研究届を提出しなければならない。その際，前出の「『卒業研究』資格判定制度」に示された基準に満たない場合には，卒業研究届を提出することができない。

作成した卒業論文は最終学期において定められた期日（3月卒業の場合には1月31日，9月卒業の場合は7月31日）までに提出しなければならない。

2 学科ごとの履修要件

履修要件は各学科で異なっている。以下，各学科の表に従って必要な履修手続きを行わなければならない。

(1) 人間形成学科

人間を発達的に理解する

人間は、生涯を通じて、いろいろな世界やたくさんの人たちと出会い、「新しい自分」をつくりあげていきます。この点において、私たちは生涯を通じて発達していく存在といえます。

私たちは、いつの間にかさまざまな能力を獲得したり、知らぬ間にある価値観を身につけているように思います。しかし実際には、そうしたプロセスにはさまざまな発達のメカニズムが働いており、まだその内実はわかっていないことばかりです。人間形成学科では、生涯にわたる発達過程について研究し、その支援について考えていきます。

人間形成を支える社会や文化

人間の発達は、社会や文化のありようと無関係に進行するものではありません。たとえば、インターネットや携帯電話のなかった社会で育った子どもたちと、現代社会に生きている子どもたちとは、他の人たちとの出会い方は大きく変わっているはずで、人間形成学科では、人として育ち、育てられるプロセスを社会 - 歴史的な観点から研究します。その上で、人が人間性豊かに生活し、今日の社会がかかえる問題を解決するための方途について、広く人間形成の観点から検討します。

科目名称	授業形態	配当学期								単位数	必修・選択の別			備考
		1年		2年		3年		4年			必修	選必	自由	
		前	後	前	後	前	後	前	後					
[教養原論]														
人間形成と思想の分野を除く各授業科目	講義									各2		18		
[外国語科目]														
英語リーディング	演習									1	1			
英語リーディング	演習									1	1			
英語リーディング	演習									1	1			
英語オーラル	演習									1	1			
英語オーラル	演習									1	1			
英語オーラル	演習									1	1			
英語アドバンストA	演習									1			1	
英語アドバンストB	演習									1			1	
英語アドバンストC	演習									1			1	
独語 A,仏語 A,中国語 A,ロシア語 A	演習									1		1		
独語 B,仏語 B,中国語 B,ロシア語 B	演習									1		1		
独語 A,仏語 A,中国語 A,ロシア語 A	演習									1		1		
独語 B,仏語 B,中国語 B,ロシア語 B	演習									1		1		
独語 A,仏語 A,中国語 A,ロシア語 A	演習									1			1	
独語 B,仏語 B,中国語 B,ロシア語 B	演習									1			1	
独語 A,仏語 A,中国語 A,ロシア語 A	演習									1			1	
独語 B,仏語 B,中国語 B,ロシア語 B	演習									1			1	
独語SA,仏語SA,中国語SA	演習									1			1	
独語SB,仏語SB,中国語SB	演習									1			1	
独語XI,仏語XI,韓国語XI,スペイン語XI,イタリア語XI	演習									1			1	
独語XII,仏語XII,韓国語XII,スペイン語XII,イタリア語XII	演習									1			1	
[情報科目]														
情報基礎	講義									1	1			
[健康・スポーツ科学]														
健康・スポーツ科学講義	講義									2			2	
健康・スポーツ科学実習	実習									1	1			
健康・スポーツ科学実習	実習									1			1	

[学部共通科目]											
発達科学への招待	講義							2	2		
ESD論(環境発達学)	講義							2			2
ESD演習 (環境発達学)	演習							2			2
ESD演習 (環境発達学)	演習							2			2
[学科共通科目] 32単位必要											
心理学入門	講義							2	2		
発達心理学概論	講義							2	2		
子ども発達論	講義							2	2		
子ども教育論	講義							2	2		
教育学概論	講義							2	2		
道徳教育論	講義							2	2		
乳幼児発達論	講義							2			
幼児精神衛生論	講義							2			
児童心理学	講義							2			
青年心理学	講義							2			
児童青年精神医学	講義							2			
発達障害心理学1	講義							2			
発達障害臨床学1	講義							2			
教育心理学	講義							2			
相談心理学	講義							2			
臨床心理学	講義							2			
カウンセリング	講義							2			
認知発達論	講義							2			
異文化教育論	講義							2			
算数教育論	講義							2		20	
初等体育論	講義							2			
音楽表現発達論	講義							2			
造形表現発達論	講義							2			
児童言語教育論	講義							2			
生涯学習論	講義							2			
教育ディベート入門	講義							2			
教育の歴史人類学	講義							2			
教職論	講義							2			
教育制度概説	講義							2			
科学技術社会と教育	講義							2			
情報化社会と教育	講義							2			
初等社会科教育論	講義							2			
人間形成学特講	講義							2			集中
発達支援論研究	講義							2			

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考	
		1年	2年	3年	4年		必修	選択	自由		
		前	後	前	後						前
[心理発達論コース専門科目]											
心理学研究法1	演習					4	4				
心理学研究法2	演習					4	4				
心理学研究法3	演習					4	4				
外書講読	演習					2	2				
心理検査法1	演習					2	2				
心理検査法2	演習					2		24			
心理検査法3	演習					2					
心理統計法	講義					4					
生涯発達心理学	講義					2					
人格形成論	講義					2					
人間関係発達論	講義					2					
教育発達心理学	講義					2					
深層心理学	講義					2					
障害児発達学	講義					2					
発達障害心理学2	講義					2					
発達障害臨床学2	講義					2					
科学教育論	講義					2					
障害児指導学	講義					2					
子ども社会論	講義					2				集中・隔年	
心理発達論演習A	演習					2					
心理発達論演習B	演習					2					
心理発達論演習C	演習					2					
知的障害の心理・生理・病理演習	演習					2					
[卒業研究]											
卒業研究						10	10				

注： 通年授業 半期授業
と とが同一授業科目に併記されているものは、隔年開講授業で、 が本来の配当学期、 は本来の配当学期にとれない時のための配当

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考	
		1年	2年	3年	4年		必修	選択	自由		
		前	後	前	後						前
[子ども発達論コース専門科目]											
子どもの発達	講義					2	2				
子どもの心と教育	講義					2	2				
子どもと生活	講義					2	2				
子どものからだづくり	講義					2	2				
子どもの認識	講義					2	2				
子どもの表現	講義					2	2				
子どもの表現教育	講義					2	2				
子どもとメディア	講義					2	2				
子どもの発達支援	講義					2	2				
外書講読	講義					2	2				
子ども発達論演習1	演習					2	2				
子ども発達論演習2	演習					2	2				
子ども発達研究法1	演習					2	2				
子ども発達研究法2	演習					2	2				
数理認識発達論	講義					2		12			
子どもスポーツ論	講義					2					
幼年音楽論	講義					2					
美術教育史論	講義					2					
乳幼児認知発達論	講義					2					
造形発達論	講義					2					
児童文学論	講義					2					
児童福祉論	講義					2				集中・隔年	
子ども社会論	講義					2				集中・隔年	
心理統計法	講義					4					
人間関係発達論	講義					2					
教育制度	講義					2					
健康行動科学	講義					2					
異言語指導論	講義					2					
[卒業研究]											
卒業研究						10	10				

注： 通年授業

半期授業

と とが同一授業科目に併記されているものは、隔年開講授業で、 が本来の配当学期、 は本来の配当学期にとれない時のための配当

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考
		1年	2年	3年	4年		必修	選択	自由	
		前	後	前	後					
[教育科学論コース専門科目]										
教育学研究法1	演習					2	2			
教育学研究法2	演習					2	2			
教育学研究法3	演習					2	2			
教育学研究法4	演習					2	2			
教育学研究法5	演習					2	2			
教育学研究法6	演習					2	2			
教育学研究法7	演習					2	2			
教育学研究法8	演習					2	2			
外書講読	演習					2	2			
教育科学論演習1	演習					2	2			
教育科学論演習2	演習					2	2			
教育科学研究1	演習					2	2			
教育科学研究2	演習					2	2			
教育思想史	講義					2		14		
日本教育史	講義					2				
教育制度	講義					2				
教育法	講義					2				
教育政策	講義					2				
教育行政学	講義					2				
教育方法学	講義					2				
学習指導論	講義					2				
生活指導論	講義					2				
科学教育論	講義					2				
カリキュラム論	講義					2				
社会科教育方法論	講義					2				
成人学習論	講義					2				
社会教育計画論	講義					2				
授業システム論	講義					2				
教師教育史論	講義					2				
教育哲学	講義					2				
異言語指導論	講義					2				
[卒業研究]										
卒業研究						10	10			

注： 通年授業 半期授業

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考
		1年	2年	3年	4年		必修	選択	自由	
		前	後	前	後					
[学校教育論コース専門科目]										
教育哲学	講義					2	2			
学習指導論	講義					2	2			
教育政策	講義					2	2			
幼児教育内容論	講義					2	2			
学習障害等教育総論	講義					2	2			
異言語指導論	講義					2	2			
学校教育資料調査法	演習					2	2			
子ども発達論演習1	演習					2		2		
教育科学論演習1	演習					2				
子ども発達論演習2	演習					2		2		
教育科学論演習2	演習					2				
子ども発達研究法1	演習					2		2		
教育科学研究1	演習					2				
子ども発達研究法2	演習					2		2		
教育科学研究2	演習					2				
教育思想史	講義					2				
自然教育論	講義					2				
生活科教育論	講義					2				
初等家政学概論	講義					2				
国語教育方法論	講義					2				
社会科教育方法論	講義					2				
理科教育方法論	講義					2				
算数教育方法論	講義					2				
生活科教育方法論	講義					2				
家庭科教育方法論	講義					2				
音楽表現教育方法論	講義					2				
造形表現教育方法論	講義					2				
運動教育方法論	講義					2		26		
幼児音楽表現指導法	講義					2				
幼児造形表現指導法	講義					2				
幼児環境指導法	講義					2				
幼児健康指導法	講義					2				集中
幼児人間関係指導法	講義					2				
幼児言語表現指導法	講義					2				
教師教育史論	講義					2				
教育法	講義					2				
教育行政学	講義					2				
教育方法学	講義					2				
生活指導論	講義					2				
カリキュラム論	講義					2				
授業システム論	講義					2				
特別活動指導法	講義					2				

特別支援教育学	演習							2			
障害児発達学	講義							2			
障害児指導学	講義							2			
視覚障害児発達学	演習							2			
発達障害心理学2	講義							2			
発達障害臨床学2	講義							2			
特別支援教育総論	講義							2			
児童文学論	講義							2			
[卒業研究]											
卒業研究								10	10		

注： 通年授業

半期授業

(2) 人間行動学科

人間行動学科では、人間の行動を既存の領域とは異なる視点から教育・研究します。新しい人間行動の探求には、人間の複雑かつ多様な行動を科学的に究明し、正しく理解することが重要です。このため、本学科では人間の行動原理と人間の行動を取り巻く環境や文化を学ぶことに興味と関心を持っている学生に対して、人間行動を自然科学・社会科学の両面から分析・考察・理解する能力と豊かな生活を創造するための実践力を身につけることができるように、健康発達論、行動発達論および身体行動論の3つのコースを設置しています。健康発達論コースでは生涯の各ステージにおける健康課題の解決策を、行動発達論コースでは人間行動の発達と適応を多角的に解明・理解する能力と実践力を、身体行動論コースでは運動・スポーツなど身体行動の仕組みや原理の探求から活動的なライフスタイルの構築をそれぞれ目指します。また、各コースのカリキュラムは他領域の授業を積極的に取り組み、多くの視点から人間行動を検討することが可能なように工夫されています。この学科では、新しい自分を見つけ、社会に貢献する能力を身につけて下さい。

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考
		1年	2年	3年	4年		必修	選必	自由	
		前	後	前	後					
[教養原論]										
各授業科目	講義					各2		18		
[外国語科目]										
英語リーディング	演習					1	1			
英語リーディング	演習					1	1			
英語リーディング	演習					1	1			
英語オーラル	演習					1	1			
英語オーラル	演習					1	1			
英語オーラル	演習					1	1			
英語アドバンスA	演習					1			1	
英語アドバンスB	演習					1			1	
英語アドバンスC	演習					1			1	
独語 A,仏語 A,中国語 A,ロシア語 A	演習					1		1		
独語 B,仏語 B,中国語 B,ロシア語 B	演習					1		1		
独語 A,仏語 A,中国語 A,ロシア語 A	演習					1		1		
独語 B,仏語 B,中国語 B,ロシア語 B	演習					1		1		
独語 A,仏語 A,中国語 A,ロシア語 A	演習					1			1	
独語 B,仏語 B,中国語 B,ロシア語 B	演習					1			1	
独語 A,仏語 A,中国語 A,ロシア語 A	演習					1			1	
独語 B,仏語 B,中国語 B,ロシア語 B	演習					1			1	
独語SA,仏語SA,中国語SA	演習					1			1	
独語SB,仏語SB,中国語SB	演習					1			1	
独語XI,仏語XI,韓国語XI,スペイン語XI,イタリア語XI	演習					1			1	
独語XII,仏語XII,韓国語XII,スペイン語XII,イタリア語XII	演習					1			1	
[情報科目]										
情報基礎	講義					1	1			
[健康・スポーツ科学]										
健康・スポーツ科学講義	講義					2			2	
健康・スポーツ科学実習	実習					1	1			
健康・スポーツ科学実習	実習					1			1	

[学部共通科目]											
発達科学への招待	講義							2	2		
ESD論(環境発達学)	講義							2			2
ESD演習 (環境発達学)	演習							2			2
ESD演習 (環境発達学)	演習							2			2
[学科共通科目] 26単位必要											
健康発達概論	講義							2	2		
行動発達概論	講義							2	2		
身体行動概論	講義							2	2		
社会調査法	講義							2			
生涯スポーツ論	講義							2			
人体構造機能論	講義							2			
健康管理論	講義							2			
身体機能加齢論	講義							2			
身体運動のしくみ	講義							2			
からだの構造と運動	講義							2			
身体文化論	講義							2			
健康教育論	講義							2			
公衆衛生学	講義							2			
身体運動発達論	講義							2			
人間行動特論A	講義							2			隔年
人間行動特論B	講義							2			隔年
発達支援論研究	講義							2			

注： 通年授業 半期授業
と とが同一授業科目に併記されているものは、隔年開講授業で、 が本来の配当学期、 は本来の配当学期にとれない時のための配当

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考	
		1年	2年	3年	4年		必修	選択	自由		
		前	後	前	後						前
[健康発達論コース専門科目] 30単位必要											
ヘルスプロモーション論	講義					2					
健康評価論	講義					2					
健康統計学	講義					2					隔年
健康行動科学	講義					2					
安全行動・管理論	講義					2					隔年
高齢者保健福祉論	講義					2					隔年
予防医学概説	講義					2					隔年
救急医療概説	講義					2					隔年
健康生態学	講義					2					
健康政策論	講義					2					
国際健康開発論	講義					2					隔年
身体適応論	講義					2					
ストレス生理学	講義					2					
認知発達論	講義					2		28			
人間関係発達論	講義					2					
臨床心理学	講義					2					
カウンセリング	講義					2					
子どもの発達支援	講義					2					
衣環境学1	講義					2					
栄養学	講義					2					
生活環境共生論1	講義					2					
生活環境心理学	講義					2					
応用統計学A	講義					2					
健康行動科学演習1	演習					2					
健康評価論演習1	演習					2					
健康生態学演習1	演習					2		2			
健康政策論演習1	演習					2					
ヘルスプロモーション論演習1	演習					2					
健康行動科学演習2	演習					2					
健康評価論演習2	演習					2					
健康生態学演習2	演習					2		2			
健康政策論演習2	演習					2					
ヘルスプロモーション論演習2	演習					2					
健康発達研究法	演習					2	2				
[卒業研究]											
卒業研究						10	10				

注： 通年授業

半期授業

と とが同一授業科目に併記されているものは、隔年開講授業で、 が本来の配当学期、 は本来の配当学期にとれない時のための配当

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考	
		1年	2年	3年	4年		必修	選必	自由		
		前	後	前	後						前
[行動発達論コース専門科目] 30単位必要											
行動発達研究法	演習					2					
エイジング研究	講義					2					
行動適応論	講義					2					
運動処方論	講義					2					
ストレス生理学	講義					2					
ヘルスプロモーション論	講義					2					
予防医学概説	講義					2					隔年
身体適応論	講義					2					
スポーツプロモーション論	講義					2					
運動心理学	講義					2					
身体運動制御論	講義					2					
栄養学	講義					2					
乳幼児発達論	講義					2		26			
臨床心理学	講義					2					
社会行動論演習1	演習					2					
身体機能加齢論演習1	演習					2					
身体適応論演習1	演習					2		2			
アクティブエイジング研究演習1	演習					2					
行動適応論演習1	演習					2					
健康行動科学	講義					2					
社会行動論演習2	演習					2					
身体機能加齢論演習2	演習					2					
身体適応論演習2	演習					2		2			
アクティブエイジング研究演習2	演習					2					
行動適応論演習2	演習					2					
バイオメカニクス実験	実験					2					
健康政策論	講義					2					
行動発達演習1	演習					2	2				
行動発達演習2	演習					2	2				
[卒業研究]											
卒業研究						10	10				

注： 通年授業 半期授業
と とが同一授業科目に併記されているものは、隔年開講授業で、 が本来の配当学期、 は本来の配当学期にとれない時のための配当

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考		
		1年	2年	3年	4年		必修	選択	自由			
		前	後	前	後						前	後
[身体行動論コース専門科目] 30単位必要												
体育・スポーツ史	講義					2				30		
スポーツ社会学	講義					2						
スポーツマネジメント論	講義					2						
スポーツプロモーション論	講義					2						
運動心理学	講義					2						
身体運動技術論	講義					2						
運動処方論	講義					2						
体力科学論	講義					2						
身体適応論	講義					2						
身体運動制御論	講義					2						
子どものからだづくり	講義					2	2					
ストレス生理学	講義					2						
運動障害論	講義					2						
健康行動科学	講義					2						
運動生理学実験	実験					2						
バイオメカニクス実験	実験					2						
陸上運動方法論	実習					1					4	
水泳系運動方法論	実習					1						
球技運動方法論	実習					1						
武道系運動方法論	実習					1						
舞踊運動方法論	実習					1					隔年	
体操運動方法論	実習					1					隔年	
野外運動方法論	実習					2					通年 不定期開講	
体育・スポーツ史研究法	演習					2						
スポーツ社会学研究法	演習					2						
運動心理学研究法	演習					2						
体育・スポーツ史演習	演習					2				2		
スポーツ社会学演習	演習					2						
運動心理学演習	演習					2						
身体運動技術論演習	演習					2						
身体運動制御論演習	演習					2						
運動処方論演習	演習					2						
体力科学論演習	演習					2						
運動障害論演習	演習					2						
ストレス生理学演習	演習					2						
[卒業研究]												
卒業研究						10	10					

注： 通年授業 半期授業
と とが同一授業科目に併記されているものは、隔年開講授業で、 が本来の配当学期、 は本来の配当学期にとれない時のための配当

(3) 人間表現学科

私たち人間は、長い歴史にわたって、その時々々の環境のもとで様々な表現を行い、その時代に固有の文化を生み出してきました。とりわけ、音楽や造形、舞踊といった文化的形態での創造的表現は極めて人間的な行為であり、人間の発達や変容にとって欠かすことのできない重要な営みです。人間表現学科では、こういった人間の創造表現の本質を探究するために、表現文化論、表現創造論および臨床・感性表現論の3つの履修コースを設定しています。

人間表現学科の学生は、1年次に3コースの概論を中心とする学科共通科目を履修し、人間の表現に関わる問題群へアプローチするためのさまざまな考え方や方法を学びます。こうした一連の学習を通じて学ぶ方向性を見定め、2年次から各履修コースに進学します。進学後は、それぞれのコースにおいて専門を学んでいきますが、他方、多様で柔軟な視点を養うことができるよう、幅広い学科共通科目が提供されているとともに、各コースのカリキュラムにおいても、他コースや他学科の授業を数多く取り入れるなどの工夫がされています。このように、人間表現学科では、表現に関わる幅広い領域をバランスよく学びながら、学生が自ら学ぶ方向性とテーマを見定められるようになっていきます。

科目名称	授業形態	配当学期								単位数	必修・選択の別			備考
		1年		2年		3年		4年			必修	選択	自由	
		前	後	前	後	前	後	前	後					
[教養原論]														
各授業科目	講義									各 2		18		
[外国語科目]														
英語リーディング	演習									1	1			
英語リーディング	演習									1	1			
英語リーディング	演習									1	1			
英語オーラル	演習									1	1			
英語オーラル	演習									1	1			
英語オーラル	演習									1	1			
英語アドバンストA	演習									1			1	
英語アドバンストB	演習									1			1	
英語アドバンストC	演習									1			1	
独語 A,仏語 A,中国語 A,ロシア語 A	演習									1		1		
独語 B,仏語 B,中国語 B,ロシア語 B	演習									1		1		
独語 A,仏語 A,中国語 A,ロシア語 A	演習									1		1		
独語 B,仏語 B,中国語 B,ロシア語 B	演習									1		1		
独語 A,仏語 A,中国語 A,ロシア語 A	演習									1			1	
独語 B,仏語 B,中国語 B,ロシア語 B	演習									1			1	
独語 A,仏語 A,中国語 A,ロシア語 A	演習									1			1	
独語 B,仏語 B,中国語 B,ロシア語 B	演習									1			1	
独語SA,仏語SA,中国語SA	演習									1			1	
独語SB,仏語SB,中国語SB	演習									1			1	
独語XI,仏語XI,韓国語XI,スペイン語XI,イタリア語XI	演習									1			1	
独語XII,仏語XII,韓国語XII,スペイン語XII,イタリア語XII	演習									1			1	
[情報科目]														
情報基礎	講義									1	1			
[健康・スポーツ科学]														
健康・スポーツ科学講義	講義									2			2	
健康・スポーツ科学実習	実習									1	1			
健康・スポーツ科学実習	実習									1			1	

[学部共通科目]											
発達科学への招待	講義							2	2		
ESD論(環境発達学)	講義							2		2	
ESD演習 (環境発達学)	演習							2		2	
ESD演習 (環境発達学)	演習							2		2	
[学科共通科目] _{36単位必要}											
表現文化概論	講義							2	2		
表現創造概論	講義							2	2		
臨床・感性表現概論	講義							2	2		
人間の発達と表現	演習							2	2		
アートマネジメント	講義							2	2		
デザイン史1	講義							2	(2)		表現文化論コースは必修
都市・建築文化論	講義							2	(2)		表現文化論コースは必修
ファッション文化論1	講義							2	(2)		表現文化論コースは必修
舞台芸術論	講義							2	(2)		表現文化論コースは必修
メディア論	講義							2	(2)		表現文化論コースは必修
創造の発想とプロセス	演習							2			
音楽理論1	講義							2			
音楽理論2	講義							2			
声楽表現概論	講義							2			
合唱表現演習	演習							2~4		36 ^注	
コミュニティー音楽	講義							2	(2)		臨床・感性表現論コースは必修
ヴィジュアル・コミュニケーション論	講義							2	(2)		臨床・感性表現論コースは必修
身体表現論	講義							2	(2)		臨床・感性表現論コースは必修
空間表象論	講義							2			
サブカルチャー論	講義							2			
先端表現演習A	演習							2			
遊びと芸術	講義							2			
表現ワークショップ論	講義							2			
表現の政治学	講義							2			
心理学入門	講義							2			
生涯学習論	講義							2			
身体文化論	講義							2			
子どもの表現	講義							2			
発達支援論研究	講義							2			

注：学科共通科目に関して

各コースごとに必修科目が異なるので注意すること。

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考
		1年	2年	3年	4年		必修	選必	自由	
		前	後	前	後					
[表現文化論コース専門科目] 30単位必要										
デザイン史2	講義					2				
デザイン史演習	演習					2				
都市と建築の20世紀	講義					2				
都市と建築の20世紀演習	演習					2				
ファッション文化論2	講義					2				
ファッション文化論演習	演習					2				
西洋音楽文化論	講義					2				
西洋音楽文化論演習	演習					2				
映像論	講義					2				
映像・メディア論演習	演習					2		30		
社会調査法	講義					2				
音楽集団活動論	講義					2				
音楽理論3	講義					2				
音楽理論4	講義					2				
立体造形論	講義					2				
音楽療法論	講義					2				
感性を測る	講義					2				
感性心理学概論	講義					2				
臨床舞踊論	講義					2				
[卒業研究]										
卒業研究						10	10			

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考
		1年	2年	3年	4年		必修	選必	自由	
		前	後	前	後					
[表現創造論コース専門科目] 30単位必要										
表現創造演習1・企画	演習					2	2			
表現創造演習2・運営	演習					2	2			
表現創造演習3・制作	演習					2	2			
表現創造演習4・総合	演習					2	2			
音楽集団活動論	講義					2		22		
合奏表現演習	演習					2				
ピアノ演奏概論	講義					2				
ピアノ演奏演習1	演習					2				
ピアノ演奏演習2	演習					2				
室内楽	演習					2				
声楽表現演習1	演習					2				
声楽表現演習2	演習					2				
音楽理論3	講義					2				
音楽理論4	講義					2				
音楽理論5	講義					2				
音楽理論6	講義					2				
立体造形	実技					2				
立体造形論	講義					2				
絵画表現	実技					2				
絵画表現論	講義					2				
先端表現演習B	演習					2				
舞踊創造論	講義					2				
舞踊創造論演習	演習					2				
映像・メディア論演習	演習					2				
リミック	演習					2				隔年
[卒業研究]										
卒業研究						10	10			

注： 通年授業 半期授業
と とが同一授業科目に併記されているものは、隔年開講授業で、 が本来の配当学期、 は本来の配当学期にとれない時のための配当

科目名称	授業形態	配当学期								単位数	必修・選択の別			備考
		1年		2年		3年		4年			必修	選必	自由	
		前	後	前	後	前	後	前	後					
[臨床・感性表現論コース専門科目]													30単位必要	
感性心理学概論	講義									2	2			
芸術療法論	講義									2	2			
感性を測る	講義									2	2			
音楽療法論	講義									2		24		
即興演奏	演習									2				
舞踊創造論	講義									2				
舞踊創造論演習	演習									2				
臨床舞踊論	講義									2				
臨床舞踊論演習	演習									2				
リズムク	演習									2				隔年
深層心理学	講義									2				
心理統計法	講義									4				
生活環境心理学	講義									2				
社会調査法	講義									2				
西洋音楽文化論	講義									2				
ピアノ演奏概論	講義									2				
映像論	講義									2				
ファッション文化論2	講義									2				
合奏表現演習	演習									2				
先端表現演習B	演習									2				
[卒業研究]														
卒業研究										10	10			

注： 通年授業 半期授業
と とが同一授業科目に併記されているものは、隔年開講授業で、 が本来の配当学期、 は本来の配当学期にとれない時のための配当

(4) 人間環境学科

人間環境学科の教育研究には、3つの特色があります。まず第1は、学際性・総合性です。今日の人間環境問題は、もはや個別のせまい専門分野の知識だけではとても解決することができません。人間環境学科は、文系と理系の枠を超え、多様な専門分野の知識を学ぶとともに、それらの統合・融合を積極的にはかり、幅広い視野とユニークな視点をもった人材を育成します。

第2は、高度な専門性です。総合的な学部は、しばしば「広く浅く」とどまりがちです。しかし、人間環境学科は、自然環境、数理情報環境、生活環境、社会環境の4つのコースを擁し、各コースごとに充実した基礎・専門教育を行います。学生時代のすぐれた卒業研究の成果が、大学院進学後、専門学会で発表されることも珍しくありません。

第3は、つねに最先端の課題に、アクティブに取り組んでいることです。人間環境学科では、講義するだけでなく、さまざまな実験、実習、演習、調査、フィールドワークを重視します。机上の空論に陥ることなく、新たな人間環境の創造に向けて、実証的・実践的な問題解決へのアプローチを行います。

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考	
		1年		2年			3年		4年		
		前	後	前	後		前	後	前		後
[教養原論]											
各授業科目	講義					各 2		18			
[外国語科目]											
英語リーディング	演習					1	1				
英語リーディング	演習					1	1				
英語リーディング	演習					1	1				
英語オール	演習					1	1				
英語オール	演習					1	1				
英語オール	演習					1	1				
英語アドバンストA	演習					1			1		
英語アドバンストB	演習					1			1		
英語アドバンストC	演習					1			1		
独語 A,仏語 A,中国語 A,ロシア語 A	演習					1		1			
独語 B,仏語 B,中国語 B,ロシア語 B	演習					1		1			
独語 A,仏語 A,中国語 A,ロシア語 A	演習					1		1			
独語 B,仏語 B,中国語 B,ロシア語 B	演習					1		1			
独語 A,仏語 A,中国語 A,ロシア語 A	演習					1			1		
独語 B,仏語 B,中国語 B,ロシア語 B	演習					1			1		
独語 A,仏語 A,中国語 A,ロシア語 A	演習					1			1		
独語 B,仏語 B,中国語 B,ロシア語 B	演習					1			1		
独語SA,仏語SA,中国語SA	演習					1			1		
独語SB,仏語SB,中国語SB	演習					1			1		
独語XI,仏語XI,韓国語XI,スペイン語XI,イタリ語XI	演習					1			1		
独語XII,仏語XII,韓国語XII,スペイン語XII,イタリ語XII	演習					1			1		
[情報科目]											
情報基礎	講義					1	1				
[健康・スポーツ科学]											
健康・スポーツ科学講義	講義					2			2		
健康・スポーツ科学実習	実習					1	1				
健康・スポーツ科学実習	実習					1			1		

[学部共通科目]												
発達科学への招待	講義							2	2			
ESD論(環境発達学)	講義							2		2		
ESD演習 (環境発達学)	演習							2		2		
ESD演習 (環境発達学)	演習							2		2		
[学科共通科目]												
人間環境学概論	講義							2	2			
自然環境概論	講義							2				
数理情報環境概論	講義							2		6		
生活環境概論	講義							2				
社会環境概論	講義							2				
統計の考え方	講義							2				
環境モデリング入門	講義							2		2		
高齢者環境論	講義							2		2		
エコロジー論	講義							2				
発達支援論研究	講義							2			2	
[共通専門基礎科目] 自然環境論・数理情報環境論コースは14単位以上選択、生活環境論コース・社会環境論は8単位以上選択												
物理学B1	講義							2		8 又 は 14		
物理学B2	講義							2				
物理学B3	講義							2				
物理学C1	講義							2				
物理学C2	講義							2				
物理学C3	講義							2				
物理学C4	講義							2				
物理学実験	実験							2				
無機化学基礎	講義							2				
有機化学基礎	講義							2				
生物学	講義							2				
生物学	講義							2				
生物学	講義							2				
基礎地学	講義							2				
線形代数学入門	講義							2				
線形代数学1	講義							2				
線形代数学2	講義							2				
微分積分学入門	講義							2				
微分積分学1	講義							2				
微分積分学2	講義							2				
数理統計学	講義							2				
法律学	講義							2			隔年	
経済学	講義							2			隔年	
政治学	講義							2			隔年	
人文地理学	講義							2			隔年	
外国史	講義							2			隔年	

社会学	講義						2			
日本史	講義						2			隔年
倫理学	講義						2			

注： 通年授業 半期授業
と とが同一授業科目に併記されているものは、隔年開講授業で、 が本来の配当学期、 は本来の配当学期にとれない時のための配当

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考	
		1年	2年	3年	4年		必修	選択	自由		
		前	後	前	後						前
[自然環境論コース専門科目]											
自然環境科学実験A(主として地学)	実験					2	2				
自然環境科学実験B(主として生物学)	実験					2	2				
自然環境科学実験C(主として化学)	実験					2	2				
自然環境科学	講義					2		12			
環境地球科学A	講義					2					
環境地球科学B	講義					2					
現代物質科学	講義					2					
現代物理化学A	講義					2					
現代物理化学B	講義					2					
現代生命科学A	講義					2					
現代生命科学B	講義					2					
環境物理学実験	実験					2			4		
物質環境科学実験	実験					2					
生物環境科学実験	実験					2					
地球環境科学実験	実験					2					
野外生物学実習	実験					2				集中	
分子生命科学実習	実験					2				集中	
宇宙史	講義					2					
環境遺伝学	講義					2				集中 隔年	
鉱物学	講義					1				集中	
地球環境科学特別講義	講義					1				集中	
地球環境変遷学	講義					1				集中	
宇宙環境物理学	講義					2					
無機化学	講義					2					
環境植物生態学	講義					2					
科学哲学論	講義					2					
大気環境学	講義					2		38		隔年	
環境地球化学・同演習A	講演					2					
環境地球化学・同演習B	講演					2					
環境計測学A	講義					2					隔年
環境計測学B	講義					2					隔年
植物環境学1	講義					2					
植物環境学2	講義					2					
生活環境緑化論1	講義					2					
生活環境緑化論2	講義					2					
環境経済学	講義					2					
公衆衛生学	講義					2					
身体適応論	講義					2					
環境物理学	講義					2					
量子物理学	講義					2					
基本粒子物理学	講義					1					

分析化学	講義							2			
環境有機化学	講義							2			
生物有機化学	講義							2			
化学反応論	講義							2			
量子化学	講義							2			
高次分子生命科学	講義							2			
生物環境科学	講義							2			
動物行動生態学	講義							2			
生物多様性論	講義							2		隔年	
環境地質学・同演習1	講演							2			
環境地質学・同演習2	講演							2			
地球流体力学	講義							2			
自然環境科学特論A	講義							1		集中 隔年	
自然環境科学特論B	講義							1		集中 隔年	
自然環境科学特論C	講義							1		集中 隔年	
自然環境科学特論D	講義							1		集中 隔年	
自然科学演習	講演							1			
自然科学総合演習	講演							1			
自然環境総合演習	講演							1			
人間環境学総合演習	講演							2			
現代物質科学演習	演習							1			
環境物理学特別演習	演習							2			
情報処理演習	講演							1		集中	
環境数値解析1	講演							2			
環境数値解析2	講演							1		集中	
生命情報科学A	講義							1		隔年	
生命情報科学B	講義							1		隔年	
応用数学入門・同演習	講演							2			
数理の基礎	講義							4			
解析系の基礎	講義							2			
数理統計の基礎	講義							2			
応用解析学A	講義							2		隔年	
応用解析学B	講義							2		隔年	
応用統計学A	講義							2		隔年	
応用統計学B	講義							2		隔年	
情報環境科学A	講義							2			
情報環境科学B	講義							2			
情報環境科学C	講義							2			
[卒業研究]											
卒業研究								10	10		

注： 通年授業

半期授業

と とが同一授業科目に併記されているものは、隔年開講授業で、 が本来の配当学期、 は本来の配当学期にとれない時のための配当

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考
		1年	2年	3年	4年		必修	選択	自由	
		前	後	前	後					
[数理情報環境論コース専門科目]										
数理の基礎	講義					4	4			
数理と計算機	講義					2	2			
計算機科学A	講義					2	2			
計算機科学B	講義					2	2			
幾何系の基礎	講義					2				
解析系の基礎	講義					2				
代数系の基礎	講義					2				
数理統計の基礎	講義					2				
応用代数学	講義					2				
数理と論証	講義					2				
計算機数学	講義					2				
応用解析学A	講義					2				隔年
応用解析学B	講義					2				隔年
応用幾何学A	講義					2				隔年
応用幾何学B	講義					2				隔年
応用統計学A	講義					2				隔年
応用統計学B	講義					2				隔年
応用統計学C	講義					2				
数理情報先端特論	講義					2				
情報環境科学A	講義					2				
情報環境科学B	講義					2				
情報環境科学C	講義					2				
代数学	講義					2		34		
解析学	講義					2				
幾何学	講義					2				
確率論	講義					2				
環境経済学	講義					2				
生命情報科学A	講義					1				隔年
生命情報科学B	講義					1				隔年
生活環境メカニクス1	講義					2				
生活環境メカニクス実験	実験					2				
生活環境電子計測論1	講義					2				
ヒューマンエレクトロニクス実験	実験					2				
数理認識発達論	講義					2				
社会調査法	講義					2				
メディア論	講義					2				
応用数理特論1	講義					2		2		
情報環境特論1	講義					2				
応用数理特論2	講義					2		2		
情報環境特論2	講義					2				
応用数理特論3	講義					2		2		
情報環境特論3	講義					2				

[卒業研究]													
卒業研究							10	10					

注： 通年授業 半期授業

と とが同一授業科目に併記されているものは、隔年開講授業で、 が本来の担当学期、 は本来の担当学期にとれない時のための担当

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考
		1年	2年	3年	4年		必修	選択	自由	
		前	後	前	後					
[生活環境論コース専門科目]										
生活環境基礎実験	実験					2	2			
生活環境調査法	講義					2	2			
生活空間計画論1	講義					2				
生活環境心理学	講義					2				
生活環境緑化論1	講義					2				
衣環境学1	講義					2				
生活環境メカニクス1	講義					2				
生活環境電子計測論1	講義					2				
食環境学1	講義					2				
植物環境学1	講義					2				
生活環境共生論1	講義					2				
生活空間計画論2	講義					2				
生活環境緑化論2	講義					2				
住宅設計論	講義					2				
生活電気・機械	講義					2				隔年
生活環境メカニクス2	講義					2				
衣環境学2	講義					2				
生活環境電子計測論2	講義					2				
生活エネルギー機器論	講義					2				隔年
食環境学2	講義					2		40		
植物環境学2	講義					2				
生活環境共生論2	講義					2				
栄養学	講義					2				
食環境学実験	実験					2				
衣環境学実験	実験					2				
生活環境メカニクス実験	実験					2				
ヒューマンエレクトロニクス実験	実験					2				
植物環境学実験実習	実験実習					2				
食環境学実習	実習					2				
生活環境共生論実習	実習					2				
生活空間計画論演習	演習					2				
生活環境心理学演習	演習					2				
生活環境緑化論演習	演習					2				
衣環境学演習	演習					2				
動作解析コンピュータ演習	演習					2				
植物環境学演習	演習					2				
生活環境共生論演習	演習					2				
現代生活論	講義					2				
環境経済学	講義					2				
[卒業研究]										
卒業研究						10	10			

注： 通年授業

半期授業

と とが同一授業科目に併記されているものは、隔年開講授業で、 が本来の配当学期、 は本来の配当学期にとれない時のための配当

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考	
		1年	2年	3年	4年		必修	選択	自由		
		前	後	前	後						前
[社会環境論コース専門科目]											
社会規範論A	講義					2				16	
社会規範論B	講義					2					
社会文化環境論	講義					2					
産業社会環境論A	講義					2					
産業社会環境論B	講義					2					
地域社会環境論A	講義					2					
地域社会環境論B	講義					2					
国際社会環境論A	講義					2					
国際社会環境論B	講義					2					
社会環境思想史	講義					2					
社会変動史	講義					2					隔年
産業構造論	講義					2					隔年
労働史	講義					2					隔年
都市地域論	講義					2					隔年
コミュニティ論	講義					2					隔年
国際平和論	講義					2					
社会政策史	講義					2				隔年	
福祉国家論	講義					2				隔年	
農村開発論	講義					2				隔年	
地域空間システム論	講義					2				隔年	
フィールドワーク実習	実習					2				隔年	
現代日本社会史	講義					2					
憲法秩序論	講義					2				隔年	
公共性論	講義					2				44	
家族論	講義					2					
自治体論	講義					2					
国際開発論	講義					2					
環境経済学	講義					2					
生活空間計画論1	講義					2					
生活空間計画論2	講義					2					
生活環境心理学	講義					2					
現代生活論	講義					2					
生活環境緑化論1	講義					2					
生活環境緑化論2	講義					2					
環境植物生態学	講義					2					
数理と論証	講義					2					
社会調査法	講義					2					
教育思想史	講義					2					
メディア論	講義					2					
公共性論演習A	演習					2					
社会環境思想史演習A	演習					2					

社会文化環境論演習A	演習							2					
産業構造論演習A	演習							2					
労働史演習A	演習							2					
都市地域論演習A	演習							2		2			
コミュニティ論演習A	演習							2					
国際平和論演習A	演習							2					
国際開発論演習A	演習							2					
公共性論演習B	演習							2					
社会環境思想史演習B	演習							2					
社会文化環境論演習B	演習							2					
産業構造論演習B	演習							2		2			
労働史演習B	演習							2					
都市地域論演習B	演習							2					
コミュニティ論演習B	演習							2					
国際平和論演習B	演習							2					
国際開発論演習B	演習							2					
[卒業研究]													
卒業研究									10	10			

注： 通年授業 半期授業
と とが同一授業科目に併記されているものは、隔年開講授業で、 が本来の配当学期、 は本来の配当学期にとれない時のための配当

(5) 発達支援論コース

発達支援論コースは、どの学科にも属していない、学科横断のユニークなコースです。すべての学科から、実践的研究に関心のある学生が進学することができます。このコースでは、「ヘルスプロモーション」「子ども・家庭支援」「ボランティア社会・学習支援」「ジェンダー研究・学習支援」「障害共生支援」「労働・成人教育支援」の6つのうちのいずれかを主に選択して学び、地域のさまざまな活動と結びついた臨床的、実践的研究を行います。発達支援論コースの大きな特色のひとつは、学部で開講されるほとんどの授業を自由に選択して履修できることです。このコースでは、発達科学部の豊富な資源を活用しながら、新しい時代に挑む幅広い教養・知識・技能を身につけることで、応用的な学問領域と、発達に関わる個人・地域・学校・企業・NPOなどの実践とを橋渡しできる専門家を育てます。学問と実践との接点で、臨場感溢れる研究を指向していますので、時代のニーズに適った新しい学問が生まれる息吹を感じることができるでしょう。

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考	
		1年		2年			3年		4年		
		前	後	前	後		前	後	前		後
[発達支援論コース専門科目]											
発達支援論研究	講義					2	2				
発達支援論演習(ジェンダー研究・学習支援論)	演習					2		2			
発達支援論演習(労働・成人教育支援論)	演習					2					
発達支援論演習(ヘルスプロモーション論)	演習					2					
発達支援論演習(子ども・家庭支援論)	演習					2					
発達支援論演習(ボランティア社会・学習支援論)	演習					2					
発達支援論演習(障害共生支援論)	演習					2					
発達支援研究法	講義					2	2				
[卒業研究]											
卒業研究						10	10				

3 資格免許のための科目

次の科目は、コース専門科目とは別に資格免許のための科目（教員免許状の取得等に必要科目）として開講されるものです。開講の時期は変更される場合があります。

科目名称	授業形態	単位数	配当学期	備 考
日本国憲法	講義	2	2年後期	教員免許の必修科目
情報機器の操作	演習	1	2年後期	教員免許の必修科目
中等カリキュラム論	講義	2	2年前期	教員免許(中・高)の教職科目
保健体育科教育論A	講義	2	2年前期	教員免許:保健体育(中・高)の教職科目
保健体育科教育論B	講義	2	2年後期	教員免許:保健体育(中・高)の教職科目
保健体育科教育論C	講義	2	3年前期	開講せず
保健体育科教育論D	講義	2	3年後期	開講せず
音楽科教育論A	講義	2	2年前期	教員免許:音楽(中・高)の教職科目
音楽科教育論B	講義	2	2年後期	教員免許:音楽(中・高)の教職科目
音楽科教育論C	講義	2	3年前期	開講せず
音楽科教育論D	講義	2	3年後期	開講せず
美術科教育論A	講義	2	2年前期	教員免許:美術(中・高)の教職科目
美術科教育論B	講義	2	2年後期	教員免許:美術(中・高)の教職科目
美術科教育論C	講義	2	3年前期	開講せず
美術科教育論D	講義	2	3年後期	開講せず
理科教育論A	講義	2	2年前期	教員免許:理科(中・高)の教職科目
理科教育論B	講義	2	2年後期	教員免許:理科(中・高)の教職科目
理科教育論C	講義	2	3年前期	開講せず
理科教育論D	講義	2	3年後期	開講せず
数学教育論A	講義	2	2年前期	教員免許:数学(中・高)の教職科目
数学教育論B	講義	2	2年後期	教員免許:数学(中・高)の教職科目
数学教育論C	講義	2	3年前期	開講せず
数学教育論D	講義	2	3年後期	開講せず
家庭科教育論A	講義	2	2年前期	教員免許:家庭(中・高)の教職科目
家庭科教育論B	講義	2	2年後期	教員免許:家庭(中・高)の教職科目
家庭科教育論C	講義	2	3年前期	開講せず
家庭科教育論D	講義	2	3年後期	開講せず
社会科教育論A	講義	2	2年前期	教員免許:社会(中学校)の教職科目
社会科教育論B	講義	2	2年後期	教員免許:社会(中学校)の教職科目
社会科教育論C	講義	2	3年前期	開講せず
社会科教育論D	講義	2	3年後期	開講せず
地歴科教育論A	講義	2	2年前期	教員免許:地歴(高校)の教職科目
地歴科教育論B	講義	2	2年後期	教員免許:地歴(高校)の教職科目
地歴科教育論C	講義	2	3年前期	開講せず
地歴科教育論D	講義	2	3年後期	開講せず
公民科教育論A	講義	2	2年前期	教員免許:公民(高校)の教職科目
公民科教育論B	講義	2	2年後期	教員免許:公民(高校)の教職科目
公民科教育論C	講義	2	3年前期	開講せず
公民科教育論D	講義	2	3年後期	開講せず
教職実践演習(幼・小)	演習	2	4年後期	教員免許(幼・小)の教職科目
教職実践演習(中・高)	演習	2	4年後期	教員免許(中・高)の教職科目
初等教育事前・事後指導	実習	1	3又は4年次	教員免許(幼・小)の教職科目
初等教育実地研究	実習	4	3又は4年次	教員免許(幼・小)の教職科目

中等教育事前・事後指導	実習	1	3又は4年次	教員免許(中・高)の教職科目	
中学校教育実地研究A	実習	2	3又は4年次	教員免許(中学校)の教職科目	
中学校教育実地研究B	実習	2	3又は4年次	教員免許(中学校)の教職科目	
高校教育実地研究	実習	2	3又は4年次	教員免許(高校)の教職科目	
教育実習	実習	3	4年次	教員免許(特別支援)の教職科目	
ソルフェージュ	演習	2	2年前期	教員免許:音楽(中・高)の教科科目	
邦楽器演奏法	演習	2	3年前期	教員免許:音楽(中・高)の教科科目	
音文化論	講義	2	2年前期	教員免許:音楽(中・高)の教科科目	
工芸表現演習	演習	2	2年後期	教員免許:美術(中学校)の教科科目	
美術批評	講義	2	3年後期	教員免許:美術(中・高)の教科科目	
ヴィジュアル・デザイン	実技	2	3年前期	教員免許:美術(中・高)の教科科目	
生活情報処理演習	演習	2	2年後期	教員免許:家庭(高校)の教科科目	隔年
家庭看護	講義	2	2年前期	教員免許:家庭(高校)の教科科目	隔年
保育学	講義	2	2年前期	教員免許:家庭(中・高)の教科科目	隔年
家庭経済・経営学	講義	2	2年前期	教員免許:家庭(中・高)の教科科目	隔年
アパレル実習	実習	2	2年後期	教員免許:家庭(中・高)の教科科目	隔年
博物館学	講義	2	2年前期	学芸員の必修科目	
博物館学	講義	2	2年後期	学芸員の必修科目	
博物館学	講義	2	3年前期	学芸員の必修科目	
博物館実習	実習	3	3・4年前期	学芸員の必修科目	

備考

発達科学部における教育実習の履修要件は以下である。

- (1) 小学校・幼稚園教諭免許取得希望者は「初等教育事前・事後指導」「初等教育実地研究」の2科目(計5単位)、中学校教諭免許取得希望者は「中等教育事前・事後指導」「中学校教育実地研究A」「中学校教育実地研究B」の3科目(計5単位)、高校教諭免許取得希望者は「中等教育事前・事後指導」「高校教育実地研究」の2科目(計3単位)を、いずれも同一年度において履修する。
- (2) 中学校教諭免許取得希望者が履修する3科目により、高校教諭免許取得も可能である。
- (3) 既に「初等教育事前・事後指導」「初等教育実地研究」の2科目の単位を修得した者は、「中等教育事前・事後指導」および「中学校教育実地研究A」または「中学校教育実地研究B」のいずれかを同一年度に履修(計3単位)することによって中学校教諭免許取得が可能となる。それによって、あわせて高校教諭免許取得も可能である。
- (4) 既に中学校ないし高校の教諭免許取得に必要な教育実習科目の単位を修得した者が小学校・幼稚園教諭免許取得を希望する場合は、「初等教育事前・事後指導」「初等教育実地研究」の2科目(計5単位)の同一年度における履修が必要である。
- (5) 既に高校教諭免許取得に必要な教育実習科目の単位を修得した者が中学校教諭免許取得を希望する場合は、「中学校教育実地研究A」「中学校教育実地研究B」(計4単位)の同一年度における履修が必要である。
- (6) 特別支援学校教諭免許取得希望者は「教育実習」を履修する。これに加えて、幼稚園、小学校、中学校ないし高校教諭の免許を取得するための教育実習を別途履修する。

4 教育職員免許状取得に関する履修要項

本学部において、教育職員免許状を取得しようとするものは、卒業に必要な単位を修得するほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定めるそれぞれの免許状に必要な科目の単位を併せて修得しなくてはならない。

・本学部で取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科

学 科 名	免 許 状 の 種 類	免 許 教 科
人 間 形 成 学 科	幼稚園教諭一種免許状	
	小学校教諭一種免許状	
	特別支援学校教諭一種免許状	
人 間 行 動 学 科	中学校教諭一種免許状	保健体育
	高等学校教諭一種免許状	保健体育
人 間 表 現 学 科	中学校教諭一種免許状	音 楽
	高等学校教諭一種免許状	音 楽
	中学校教諭一種免許状	美 術
	高等学校教諭一種免許状	美 術
人 間 環 境 学 科	中学校教諭一種免許状	理 科
	高等学校教諭一種免許状	理 科
	中学校教諭一種免許状	数 学
	高等学校教諭一種免許状	数 学
	中学校教諭一種免許状	家 庭
	高等学校教諭一種免許状	家 庭
	中学校教諭一種免許状	社 会
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史
	高等学校教諭一種免許状	公 民

備考 学生の所属コースにかかわらず、希望者はいずれの免許状も取得することができる。
ただし、所属学科を越えての免許の取得については、履修困難な面がある。

・基礎資格及び最低必要単位数

区 分		基 礎 資 格	最低単位数			
			教科	教職	教科又は教職	特別
小学校	専修	修士の学位を有すること	8	41	34	
	一種	学士の学位を有すること	8	41	10	
中学校	専修	修士の学位を有すること	20	31	32	
	一種	学士の学位を有すること	20	31	8	
高等学校	専修	修士の学位を有すること	20	23	40	
	一種	学士の学位を有すること	20	23	16	
特別支援学校	専修	修士の学位を有すること及び 小・中・高又は幼稚園の普通 免許状を有すること				50
	一種	学士の学位を有すること及び 小・中・高又は幼稚園の普通 免許状を有すること				26
幼稚園	専修	修士の学位を有すること	6	35	34	
	一種	学士の学位を有すること	6	35	10	

備考

- (1) 「日本国憲法」(2単位, 全学共通で開講される科目), 「体育」(2単位, 健康・スポーツ科学実習, として開講される科目), 「外国語コミュニケーション」(2単位, 英語リーディング, として開講される科目) 及び「情報機器の操作」(2単位, うち1単位は情報基礎として開講される科目, 1単位は情報機器の操作: 資格免許のための科目の項178ページ参照) は, 必ず修得しなければならない。
- (2) 小学校, 中学校の教諭の普通免許状を取得しようとする場合には, 介護等体験が義務づけられている。本学部においては, 2年次に介護等体験を行う。
- (3) 小学校, 中学校, 高等学校及び幼稚園の一種免許状取得に必要なそれぞれの学校種別の教科又は教職に関する科目の履修については, それぞれの学校種別の「教科に関する科目」, 又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。
- (4) 専修免許状取得に必要なそれぞれの学校種別の教科又は教職に関する科目について必要な単位の履修については, 専修免許状に必要な基礎資格を得ることのできる課程(大学院修士課程等)において教科に関する科目を修得するか, 又は教職に関する科目を修得することが必要である。ただし, 必要な単位数はそれぞれの学校種別の一種免許状の「教科又は教職に関する科目」の単位数を引いた単位数である。(いずれの学校種別においても必要な単位数は24単位である。)

・教科に関する科目

1．小学校及び幼稚園

区 分	教科に関する科目		最低修得単位数
小学校	国 語 (書写を含む)	1以上の科目について修得すること。	8以上
	社 会		
	算 数		
	理 科		
	生 活		
	音 楽		
	図画工作		
	家 庭		
幼稚園	国 語 (書写を含む)	幼一種免 国語，算数，生活，音楽，図画工作 及び体育の教科に関する科目のうち 1以上の科目について修得すること。	6以上
	算 数		
	生 活		
	音 楽		
	図画工作		
	体 育		

2 . 中学校及び高等学校

教科及び免許		教科に関する科目	最低修得単位数
保健体育	中学校	体育実技 「体育原理 ,体育心理学 ,体育経営管理学 ,体育社会学」 及び運動学(運動方法学を含む。) 生理学(運動生理学を含む。) 衛生学及び公衆衛生学 学校保健(小児保健 ,精神保健 ,学校安全及び救急処置 を含む。)	計 20
	高等学校	体育実技 「体育原理 ,体育心理学 ,体育経営管理学 ,体育社会学」 及び運動学(運動方法学を含む。) 生理学(運動生理学を含む。) 衛生学及び公衆衛生学 学校保健(小児保健 ,精神保健 ,学校安全及び救急処置 を含む。)	計 20
音 楽	中学校	ソルフェージュ 声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。) 器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。) 指揮法 音楽理論 ,作曲法(編曲法を含む。)及び音楽史(日本の 伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	計 20
	高等学校	ソルフェージュ 声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。) 器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。) 指揮法 音楽理論 ,作曲法(編曲法を含む。)及び音楽史(日本の 伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	計 20
美 術	中学校	絵画(映像メディア表現を含む。) 彫刻 デザイン(映像メディア表現を含む。) 工芸 美術理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及び アジアの美術を含む。)	計 20
	高等学校	絵画(映像メディア表現を含む。) 彫刻 デザイン(映像メディア表現を含む。) 美術理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及び アジアの美術を含む。)	計 20
社 会	中学校	日本史及び外国史 地理学(地誌を含む。) 「法律学 ,政治学」 「社会学 ,経済学」 「哲学 ,倫理学 ,宗教学」	計 20

教科及び免許		教科に関する科目	最低修得単位数
地理歴史	高等学校	日本史 外国史 人文地理及び自然地理学 地誌	計 20
公民	高等学校	「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」 「社会学、経済学(国際経済を含む。)」 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	計 20
家庭	中学校	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。) 被服学(被服製作実習を含む。) 食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。) 住居学 保育学(実習を含む。)	計 20
	高等学校	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。) 被服学(被服製作実習を含む。) 食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。) 住居学(製図を含む。) 保育学(実習及び家庭看護を含む。) 家庭電気・機械及び情報処理	計 20
理科	中学校	物理学 物理学実験(コンピュータ活用を含む。) 化学 化学実験(コンピュータ活用を含む。) 生物学 生物学実験(コンピュータ活用を含む。) 地学 地学実験(コンピュータ活用を含む。)	計 20
	高等学校	物理学 化学 生物学 地学 「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	計 20
数学	中学校	代数学 幾何学 解析学 「確率論、統計学」 コンピュータ	計 20
	高等学校	代数学 幾何学 解析学 「確率論、統計学」 コンピュータ	計 20

・教職に関する科目

第一欄	教職に関する科目	免許状の種類及び単位数			
		小学校	幼稚園	中学校	高等学校
第二欄	教職の意義及び教員の役割	2	2	2	2
	教員の職務内容（研修，服務及び身分保障等を含む。）				
	進路選択に資する各種の機会の提供等				
第三欄	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	6	6	6
	幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）				
	教育に関する社会的，制度的又は経営的事項				
第四欄	教育課程の意義及び編成の方法	20		12	6
	各教科の指導法				
	道徳の指導法				
	特別活動の指導法				
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	2	4		
	教育課程の意義及び編成の方法		14		
	保育内容の指導法				
	生徒指導の理論及び方法				
	進路指導の理論及び方法	4		4	4
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法				
	幼児理解の理論及び方法				
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		2			
第五欄	教育実習	5	5	5	3
第六欄	教職実践演習	2	2	2	2

・特別支援教職に関する科目

	教科に関する科目	免許状の種類及び単位数
		特別支援学校
第一欄	特別支援教育の基礎理論に関する科目	2
第二欄	特別支援教育領域に関する科目	16
第三欄	免許状に定められていることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	5
第四欄	心身に障害のある幼児，児童又は生徒についての教育実習	3

・教育職員免許状取得に関する科目認定一覧

1. 小学校及び幼稚園

第1表 教科に関する科目（小学校・幼稚園一種免許状）

教科に関する科目	単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考
国 語 (書写を含む)	小一種免8単位以上 幼一種免6単位以上	児童言語教育論	2	
社 会		初等社会科教育論	2	
算 数		算数教育論	2	
理 科		自然教育論	2	
生 活		生活科教育論	2	
音 楽		音楽表現発達論	2	
図画工作		造形表現発達論	2	
家 庭		初等家政学概論	2	
体 育		初等体育論	2	

備 考

(1) 印科目は、小学校及び幼稚園一種免許状の必修科目である。

第2表 教職に関する科目（小学校・幼稚園一種免許状）

第一欄	教職に関する科目	単位数	本学部認定授業科目	単位数	備考	
第二欄	教職の意義及び教員の役割	小2 幼2	教職論	2		
	教員の職務内容(研修, 服務及び身分保障等を含む。)					
	進路選択に資する各種の機会の提供等					
第三欄	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	小6 幼6	教育学概論	2	幼一種免のみ	
	幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		教育心理学	2		
	教育に関する社会的, 制度的又は経営的事項		教育制度概説 教育政策 教育行政学	2 2 2		小幼とも1科目以上選択必修
	教育課程の意義及び編成の方法		カリキュラム論	2		
第四欄	各教科の指導法	小20	国語教育方法論	2	小幼とも2科目以上選択必修	
			社会科教育方法論	2		
			理科教育方法論	2		
			算数教育方法論	2		
			生活科教育方法論	2		
			家庭科教育方法論	2		
			音楽表現教育方法論	2		
	造形表現教育方法論	2				
運動教育方法論	2					
道徳の指導法		道徳教育論	2			
特別活動の指導法		特別活動指導法	2			
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	小2 幼4	教育方法学 学習指導論 授業システム論	2 2 2			
教育課程の意義及び編成の方法	幼14	幼児教育内容論	2			
保育内容の指導法		幼児健康指導法	2			
		幼児人間関係指導法	2			
		幼児環境指導法	2			
		幼児言語表現指導法	2			
		幼児音楽表現指導法	2			
幼児造形表現指導法	2					

第四欄	生徒指導の理論及び方法 進路指導の理論及び方法	小4	生活指導論	2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		相談心理学	2	
	幼児理解の理論及び方法	幼2	幼児精神衛生論	2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		相談心理学	2	
第五欄	教育実習	小5	初等教育事前・事後指導	1	
		幼5	初等教育実地研究	4	
第六欄	教職実践演習	小5 幼5	教職実践演習(幼・小)	2	

備考

- (1) 印科目は，小学校及び幼稚園種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) 印科目は，小学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (3) 印科目は，幼稚園一種免許状の指定科目（必修科目）である。ただし，小学校一種免許状を併せて取得する場合，第四欄の「保育内容の指導法」の単位のうち，半数（6単位）までは，小学校教諭の免許状の授与を受ける場合の「各教科の指導法」又は「特別活動の指導法」の単位をもってあてることができる。
- (3)教育実習は，原則として3年次に実施する。教育実習の履習要件については179ページ，教育実習履習の前提となる要件については125ページを，それぞれ参照のこと。

2. 中学校及び高等学校

第1表 教科に関する科目

中学校・高等学校教諭第一種免許状（保健体育）

教科に関する科目	単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考	
体育実技		陸上運動方法論	1		
		水泳系運動方法論	1		
		球技運動方法論	1		
		舞踊運動方法論	1		
		武道系運動方法論	1		
		野外運動方法論	2		
「体育原理，体育心理学， 体育経営管理学，体育社会 学」及び運動学（運動 方法学を含む。）	中一種免 20 高一種免 20	体育・スポーツ史	2		
		スポーツ社会学	2		
		運動処方論	2		
		身体運動技術論	2		
		運動心理学	2		
生理学（運動生理学を含 む。）		人体構造機能論	2		いずれか2科目 選択必修
		身体適応論	2		
		身体運動発達論	2		
衛生学及び公衆衛生学		公衆衛生学	2		
学校保健（小児保健，精 神保健，学校安全及び救 急処置を含む。）	健康教育論	2			
	運動障害論	2			

備 考

- (1) 印科目は，中学校及び高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) 中学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目20単位と教科又は教職に関する科目8単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目8単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。
- (3) 高等学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目20単位と教科又は教職に関する科目16単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目16単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。

中学校・高等学校教諭第一種免許状（音楽）

教科に関する科目	単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考
ソルフェージュ	中一種免 20 高一種免 20	ソルフェージュ	2	
声楽（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）		声楽表現演習 1	2	
		合唱表現演習	2	
器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。）		ピアノ演奏演習 1	2	
		ピアノ演奏演習 2	2	
		合奏表現演習	2	
		邦楽器演奏法	2	
指揮法		音楽集団活動論	2	
音楽理論，作曲法（編曲法を含む。）及び音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）		音楽理論 2	2	
		西洋音楽文化論	2	
		音文化論	2	

備 考

- (1) 印科目は，中学校及び高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) 中学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目20単位と教科又は教職に関する科目8単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目8単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。
- (3) 高等学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目20単位と教科又は教職に関する科目16単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目16単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。

中学校・高等学校教諭第一種免許状（美術）

教科に関する科目	単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考		
絵画（映像メディア表現を含む。）	中一種免 20 高一種免 20	絵画表現基礎	2			
		絵画表現演習	2			
		メディア論	2			
		映像・メディア論演習	2			
彫刻			立体造形		2	
デザイン（映像メディア表現を含む。）			ヴィジュアル・デザイン		2	
			ファッション文化論 1		2	
			ヴィジュアル・コミュニケーション論		2	
			空間表象論		2	
工芸			工芸表現演習		2	（中一種免のみ）
美術理論および美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）			立体造形論		2	
			美術批評		2	
		デザイン史 1	2			
		デザイン史 2	2			
		映像論	2			
		都市・建築文化論	2			

備 考

- (1) 印科目は，高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) ， 印科目は，中学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (3) 中学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目20単位と教科又は教職に関する科目8単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目8単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。
- (4) 高等学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目20単位と教科又は教職に関する科目16単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目16単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。

中学校教諭第一種免許状（社会）

教科に関する科目	単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考	
日本史及び外国史	中一種免 20	日本史	2		
		外国史	2		
		社会環境思想史	2		
		現代日本社会史	2		
		社会政策史	2		
		社会変動史	2		
		労働史	2		
地理学（地誌を含む。）		人文地理学	2		
		自然地理学	2		文学部開講
		地域社会環境論 A	2		
		地域社会環境論 B	2		
		都市地域論	2		
		農村開発論	2		
		地域空間システム論	2		
		コミュニティ論	2		
		フィールドワーク実習	2		
		地誌	2		
「法律学，政治学」		法律学	2		
		政治学	2		
		憲法秩序論	2		
	国際社会環境論 A	2			
	国際社会環境論 B	2			
	国際平和論	2			
	公共性論	2			
	国際開発論	2			
「社会学，経済学」	社会学	2			
	経済学	2			
	産業社会環境論 A	2			
	産業社会環境論 B	2			
	社会文化環境論	2			
	産業構造論	2			
	家族論	2			
「哲学，倫理学，宗教学」	倫理学	2			
	社会規範論 A	2			
	社会規範論 B	2			

備 考

- (1) 印科目は，中学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) 中学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目20単位と教科又は教職に関する科目8単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目8単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。

高等学校教諭第一種免許状（地理歴史）

教科に関する科目	単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考		
日本史	高一種免 20	日本史	2			
		現代日本社会史	2			
		社会変動史	2			
外国史		外国史	2			
		社会環境思想史	2			
		社会政策史	2			
		労働史	2			
人文地理及び自然地理学		人文地理学	2			
		自然地理学	2			文学部開講
		地域社会環境論 A	2			
	地域社会環境論 B	2				
	都市地域論	2				
	農村開発論	2				
	地域空間システム論	2				
	コミュニティ論	2				
	フィールドワーク実習	2				
地誌	地誌	2	文学部開講			

備 考

- (1) 印科目は，高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) 高等学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目20単位と教科又は教職に関する科目16単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目16単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。

高等学校教諭第一種免許状（公民）

教科に関する科目	単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考
「法律学（国際法を含む。）、 政治学（国際政治を含む。）」	高一種免 20	法律学	2	国際法を含む
		政治学	2	国際政治を含む
		憲法秩序論	2	
		国際社会環境論 A	2	
		国際社会環境論 B	2	
		国際平和論	2	
		公共性論	2	
		国際開発論	2	
「社会学，経済学（国際経 済を含む。）」	高一種免 20	社会学	2	
		経済学	2	国際経済を含む
		産業社会環境論 A	2	
		産業社会環境論 B	2	
		社会文化環境論	2	
		産業構造論	2	
		家族論	2	
「哲学，倫理学，宗教学， 心理学」	高一種免 20	倫理学	2	
		社会規範論 A	2	
		社会規範論 B	2	
		生涯発達心理学	2	

備 考

- (1) 印科目は，高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) 高等学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目20単位と教科又は教職に関する科目16単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目16単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。

中学校・高等学校教諭第一種免許状（家庭）

教科に関する科目	単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考
家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	中一種免 20 高一種免 20	家庭経済・経営学	2	
		生活環境心理学	2	
		家族論	2	
被服学（被服製作実習を含む。）		衣環境学 1	2	
		衣環境学 2	2	
		衣環境学演習	2	
		衣環境学実験	2	
食物学（栄養学，食品学及び調理実習を含む。）		アパレル実習	2	
		食環境学 1	2	
		食環境学 2	2	
		栄養学	2	
		食環境学実験	2	
住居学（製図を含む。）		食環境学実習	2	
		生活空間計画論 1	2	
		生活空間計画論 2	2	
	生活環境共生論 1	2		
	生活環境共生論 2	2		
	住宅設計論	2		
保育学（実習及び家庭看護を含む。）	保育学	2		
	家庭看護	2		
家庭電気・機械及び情報処理	生活電気・機械	2	高一種免のみ	
	生活情報処理演習	2	高一種免のみ	

備 考

- (1) 印科目は，中学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) ， 印科目は，高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (3) 中学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目20単位と教科又は教職に関する科目8単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目8単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。
- (4) 高等学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目20単位と教科又は教職に関する科目16単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目16単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。

中学校・高等学校教諭第一種免許状（理科）

教科に関する科目	単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考
物理学		宇宙史	2	
		現代物理化学 A	2	
		宇宙環境物理学	2	
		量子物理学	2	
		環境物理学	2	
		基本粒子物理学	1	
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)		物理学実験	2	コンピュータ活用を含む。
化学		現代物質科学	2	
		環境有機化学	2	
		無機化学	2	
		分析化学	2	
		生物有機化学	2	
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)		自然環境科学実験 C (主として化学)	2	コンピュータ活用を含む。
生物学	中一種免 20 高一種免 20	現代生命科学 A	2	
		現代生命科学 B	2	
		生物環境科学	2	
		動物行動生態学	2	
		環境植物生態学	2	
		高次分子生命科学	2	
		環境遺伝学	2	
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)		自然環境科学実験 B (主として生物学)	2	コンピュータ活用を含む。
地学		環境地球科学 A	2	
		環境地球科学 B	2	
		地球環境変遷学	1	
		鉱物学	1	
		地球環境科学特別講義	1	
		環境地球化学・同演習 A	2	
		環境地質学・同演習 1	2	
		大気環境学	2	
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)		自然環境科学実験 A (主として地学)	2	コンピュータ活用を含む。

備 考

- (1) 印科目は，中学校及び高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) 中学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目20単位と教科又は教職に関する科目8単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目8単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。
- (3) 高等学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目20単位と教科又は教職に関する科目16単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目16単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。

中学校・高等学校教諭第一種免許状（数学）

教科に関する科目	単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考		
代数学	中一種免 20 高一種免 20	代数系の基礎	2			
		応用代数学	2			
		数理と論証	2			
幾何学		幾何系の基礎	2			
		応用幾何学A	2			
		応用幾何学B	2			
幾何学		幾何学	2		理学部開講	
		解析学	解析系の基礎		2	
			応用解析学A		2	
応用解析学B			2			
「確率論，統計学」		数理統計の基礎	2			
		応用統計学A	2			
	応用統計学B	2				
	応用統計学C	2				
	確率論	2	理学部開講			
コンピュータ	計算機科学A	2				
	計算機科学B	2				
	数理と計算機	2				
	計算機数学	2				

備 考

- (1) 印科目は，中学校及び高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) 中学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目20単位と教科又は教職に関する科目8単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目8単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。
- (3) 高等学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目20単位と教科又は教職に関する科目16単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目16単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。

第2表 教職に関する科目（中学校・高等学校一種免許状）

第一欄	教科に関する科目	単位数	本学部認定授業科目	単位数	備考
第二欄	教職の意義及び教員の役割	2	教職論	2	
	教員の職務内容(研修、サービス及び身分保障等を含む。)				
	進路選択に資する各種の機会の提供等				
第三欄	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育学概論	2	1科目以上 選択必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		教育心理学	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育制度概説 教育政策 教育行政学	2 2 2	
第四欄	教育課程の意義及び編成の方法	中12 高6	中等カリキュラム論	2	該当する教科教育法について2科目・4単位必修 (取得しようとする免許科目の教育論を履修すること。他教科教育論をもってかえることはできない)
	各教科の指導法		保健体育科教育論A	2	
			保健体育科教育論B	2	
			保健体育科教育論C	2	
			保健体育科教育論D	2	
			音楽科教育論A	2	
			音楽科教育論B	2	
			音楽科教育論C	2	
			音楽科教育論D	2	
			美術科教育論A	2	
			美術科教育論B	2	
			美術科教育論C	2	
			美術科教育論D	2	
社会科教育論A	2				
社会科教育論B	2				
社会科教育論C	2				
社会科教育論D	2				
地歴科教育論A	2				
地歴科教育論B	2				
地歴科教育論C	2				
地歴科教育論D	2				
公民科教育論A	2				
公民科教育論B	2				
公民科教育論C	2				
公民科教育論D	2				

第四欄			家庭科教育論A	2	
			家庭科教育論B	2	
			家庭科教育論C	2	
			家庭科教育論D	2	
			理科教育論A	2	
			理科教育論B	2	
			理科教育論C	2	
			理科教育論D	2	
			数学教育論A	2	
			数学教育論B	2	
		数学教育論C	2		
		数学教育論D	2		
	道徳の指導法		道徳教育論	2	
	特別活動の指導法		特別活動指導法	2	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法学	2	1科目以上
			学習指導論	2	選択必修
			授業システム論	2	必修
	生徒指導の理論及び方法 進路指導の理論及び方法	4	生活指導論	2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		相談心理学	2	
第五欄	教育実習	中5 高3	中等教育事前・事後指導	1	
			中学校教育実地研究A	2	中一種免(高
			中学校教育実地研究B	2	一種免兼ねる)
			高校教育実地研究	2	高一種免のみ
第六欄	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2	

備考

- (1) 印科目は，中学校及び高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) 印科目は，中学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (3) 印科目は，高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (4) 高等学校免許状取得にあたっては，第四欄の道徳教育に関する科目を修得しなくてもよい。
- (5) 教育実習は，原則として3年次に実施する。教育実習の履習要件については171ページ，教育実習履習の前提となる要件については129ページを，それぞれ参照のこと。

3. 特別支援学校

第1表 特別支援教育に関する科目

	特別支援教育教科に関する科目	免許状の種類 及び単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考
		特別支援学校一種			
第一欄	特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	特別支援教育総論	2	
			特別支援教育学	2	
第二欄	特別支援教育領域に関する科目	16	発達障害心理学1	2	
			発達障害心理学2	2	
			発達障害臨床学1	2	
			発達障害臨床学2	2	
			障害児発達学	2	
			障害児指導学	2	
			知的障害の心理・生理・病理演習	2	
心理検査法1	2				
第三欄	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	5	視覚障害児発達学	2	
			学習障害等教育総論	2	
			児童青年精神医学	2	
第四欄	心身に障害のある幼児、児童または生徒についての教育実習	3	教育実習	3	

備 考

(1) 印科目は、指定科目（必修科目）である。

(2)教育実習は、原則として4年次（附属特別支援学校）に実施する。125ページおよび179ページ参照。

5 教育職員免許以外の資格について

(1) 学芸員の資格に関する科目

博物館法施行規則に定める科目	単位数	本学部で開講する授業科目	単位数
生涯学習概論	1	生涯学習論	2
		成人学習論	2
博物館概論	2	博物館学	2
博物館経営論	1		2
博物館資料論	2		2
博物館情報論	1		2
博物館実習	3	博物館実習	3
視聴覚教育メディア論	1	メディア論	2
教育学概論	1	教育学概論	2

博物館実習は3週間行うが、事前及び事後指導の1週間を含む。

事前実習は3年次に行い、あとの2週間の実習及び事後実習は4年次に行う。

(2) 社会教育主事の資格に関する科目

社会教育主事講習等規定に定める科目		単位数	授 業 科 目	単位数
生涯学習概論		4	生涯学習論	2
			成人学習論	2
社会教育計画		4	社会教育計画論	2
			社会調査法	2
社会教育演習、社会教育実習又は社会教育課題研究のうち一以上の科目		4	発達支援論演習(労働・成人教育支援論)	2
			発達支援論演習(ボランティア社会・学習支援論)	2
			発達支援論演習(障害共生支援論)	2
社 会 教 育 特 講	社会教育特講 (現代社会と社会教育)	4	スポーツプロモーション論	2
			発達支援論研究	2
			教育学概論	2
			教育行政学	2
			エイジング研究	2
			生涯発達心理学	2
			子ども発達論	2
	社会教育特講 (社会教育活動・事業・施設)	4	生涯スポーツ論	2
			健康教育論	2
			博物館学	2
			博物館学	2
			博物館学	2
			異文化教育論	2
			カウンセリング	2
	社会教育特講 (その他必要な科目)	4	音楽療法論	2
			表現ワークショップ論	2
			都市地域論	2
			コミュニティ論	2
			公共性論	2
			エコロジー論	2
		4	家族論	2
			福祉国家論	2
			農村開発論	2
			地域空間システム論	2
			自治体論	2
			国際開発論	2
			都市・建築文化論	2
スポーツマネジメント論	2			
			生活環境概論	2

(3) 社会福祉主事任用資格に関する科目

社会福祉主事の設置に関する法律に定める科目	本学部で開講する科目	単位数
社会福祉概論		
社会福祉事業史		
社会福祉援助技術論		
社会福祉調査論		
社会福祉施設経営論		
社会福祉行政論		
社会保障論		
公的扶助論		
児童福祉論	児童福祉論	2
家庭福祉論		
保育理論		
身体障害者福祉論		
知的障害者福祉論		
精神障害者保健福祉論		
老人福祉論	高齢者保健福祉論	2
医療社会事業論		
地域福祉論		
法学		
民法		
行政法		
経済学		
社会政策		
経済政策		
心理学		
社会学	社会学	2
教育学	教育学概論	2
倫理学	倫理学	2
公衆衛生学	公衆衛生学	2
医学一般		
リハビリテーション論		
看護学		
介護概論		
栄養学	栄養学	2
家政学		

3科目以上履修すること

(4) 環境再生医の資格に関する科目

環境再生医初級認定講習項目	必要単位数	本学部で開講する科目	単位数
1．地球環境の危機と自然生態系	2単位以上	人間環境学概論	2
		自然環境概論	2
		生物多様性論	2
2．自然環境の保全と再生	2単位以上	生活環境緑化論 1	2
3．物質資源の循環と循環型社会	2単位以上	生活環境概論	2
		現代生命科学 B	2
		環境経済学	2
4．環境教育と市民活動	2単位以上	社会環境概論	2
5．環境行政と関係法令	2単位以上	国際協力の現状と課題	2
		環境植物生態学	2

6 交換留学制度

本学部・研究科では、下記の大学との間に交換留学制度を有しています。いずれも、留学に要する検定料・入学金・授業料が免除されます（但し、渡航費や生活費については学生の自己負担となります）。留学先で修得した単位については、一定限度本学部・研究科単位として認定されることがあります。募集については、掲示にて確認してください。

1. 北京師範大学教育学院，政治学興国際関係学院，外文学院
中国北京にある北京師範大学教育学院，政治学興国際関係学院，外文学院は、各年度2名以内の学生を受け入れる。留学の期間は原則として1年とし（学生の希望により、学期を単位とする留学も認めることがある）、学生の身分は進修生又は高級進修生とする。学生は、中国語による十分な意志疎通が図れることを条件とする。
2. 華東師範大学教育科学学院・人文学院・継続教育学院
中国上海にある華東師範大学教育科学興技術学院は、各年度3名以内の学生を受け入れる。留学の期間は原則として1年とし（学生の希望により、学期を単位とする留学も認めることがある）、学生の身分は特別聴講学生又は特別研究学生とする。学生は、中国語による十分な意志疎通が図れることを条件とする。
3. オーフス大学
デンマーク、オーフスにあるオーフス大学は、発達科学部・国際文化学部・大学院総合人間科学研究科及び医学部より、各年度5名以内の学生を受け入れる。留学の期間は原則として一年とする（交換学生の希望により、学期を単位とする留学も認めることがある。また両大学の合意により、一年間の延長は可とする）。学生の身分は特別聴講学生又は特別研究学生とする。学生はデンマーク語、又は、英語による十分な意志疎通が図れることを条件とする。
4. ニース＝ソフィア・アンティポリス大学
フランスのニース、及び、ソフィア・アンティポリスにある、ニース＝ソフィア・アンティポリス大学、文学芸術人文科学部は、神戸大学、国際文化学部・発達科学部・総合人間科学研究科より、各年度5名以内の学生を受け入れる。留学の期間は1セメスターまたは1年とする（留学期間を延長する場合には、両大学の承認を得なければならない）。学生の身分は交換学生とする。学生はフランス語による十分な意志疎通が図れることを条件とする。
5. 釜山国立大学師範学部
韓国の釜山にある釜山国立大学師範学部は、各年度2名以内の学生を受け入れる。留学の期間は原則として1年とし（学生の希望により、学期を単位とする留学も認めることがある）、学生の身分は交換留学生とする。学生は、韓国語による十分な意志疎通が図れることを条件とする。

上記の大学の他、公州教育大学校（韓国）、浙江大学人文学院及び伝媒と国際文化学院（中国）、香港大学（中国）、ピッツバーグ大学（米）、クイーンズランド大学（豪）、西オーストラリア大学（豪）、ロンドン大学東洋アフリカ研究学院（英）、パリ第2大学（仏）、パリ第10大学（仏）、グラーツ大学（オーストリア）、カレル大学（チェコ）、ライデン大学（オランダ）、ソウル大学校（韓国）、武漢大学（中国）、精華大学（中国）、上海交通大学（中国）、国立台湾大学（台湾）等とも交換留学制度を有しています。

交換留学制度の詳細については、下記のHPを参照してください。

<http://www.kobe-u.ac.jp/international/study-abroad-programs/exchange.htm>